http://www.jichirouren.jp

自治労連新聞 ふりーじあ

全国自治団体労働組合連合

ふりーじあ　第５７号
発行日：令和７年１月１日
自治労連教宣部発行

本部　〒114-8508　東京都北区王子本町 1-15-22　北区役所 B1　全連協事務所内　(03)3907-5177

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、昨年中は、自治労連の諸活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

執行部を代表いたしまして心より御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、６月に実質賃金の上昇率が２７か月ぶりに前年同比でプラスに転じ、８月、９月は若干のマイナスではありましたが、実質賃金上昇率の前年同比でのプラスは、概ね定着しつつあるのではないかと思われます。個人消費が本格的に持ち直しているとまでは言えないまでも、緩やかな回復が見込まれます。

そのような中、２０２４人事院勧告では、月例給２．７６％、１１，１８３円、一時金０．１０か月分の引上げとなり、月例給は、約３０年ぶりの高水準のベースアップとなりました。若年層に特に重点を置きつつ、おおむね３０代後半までの職員を中心にした俸給表の見直しではありますが、全ての職員を対象として引上げの改定となったことは、交渉が実を結んだ結果となっています。

さて、昨年の第５０回衆議院議員選挙では、私たちが支持する国民民主党が躍進を遂げました。１２月の政党支持率の世論調査では、立憲民主党を抑えて野党で最も高い支持率となったようです。国民民主党がこのような躍進を遂げているのは、与党との「対決」ではなく、法案・政策毎に是々非々で「国民に寄り添う」姿勢を貫き、「対話」を大事にしているからではないでしょうか。

我々自治労連も、労働運動を労使間の階級的対立や一心同体と捉えず、労使対等の立場に立って、是々非々の姿勢で住民に理解される民主的な労働運動を展開してきました。今こそ自治労連も、労働運動をより理解していただけるよう幅広くアピールし、「対話」をとおして、一層の組合員の加入、新たな単組の組織加盟に向け飛躍する１年としなければなりません。

今年の干支は、十干が乙（きのと）、十二支が巳（み）の年にあたるので、乙巳（きのとみ）です。

乙は、最初の「甲」が事の起こりであり、起こったことが次の成長を待って力をためている状態を示すとのことのようです。

巳（蛇）は、古代から再生や永遠の象徴とされ、皮を抜き捨てて新たな姿に生まれ変わる姿がその象徴となっており、「新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を表す」と言われています。

この二つの組み合わせである乙巳は、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起の良さを表しているとのことで、そのために努力の成果を試す時でもあるようです。脱皮を繰り返して成長するヘビのごとく、今まで胸に秘めてきた夢、着々と準備してきたことに思いきってチャレンジする、過去の失敗も

新たな成長へと変える絶好の年となり得る年です。

組合員の皆様にとっても、我々自治労連にとっても、思い切ってチャレンジし、新たな成長を果たすことができる１年でありたいと思います。２０２５年の自治労連の様々な活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年も自治労連の皆さまにとりましても今年 １ 年が輝かしい年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

２０２５年 元旦 全国自治団体労働組合連合 中央執行委員長 粟田 義隆